

エコタウンえどがわ推進本部 第15回本部会議 要旨

日時：平成31年1月18日（金）
午後3時 開会
場所：総合文化センター（2階）
会議室

次第

- 1 江戸川区の二酸化炭素排出量
- 2 地球温暖化対策の推進
- 3 エネルギー事業者の取り組み
- 4 意見交換

【会議の内容】

- 事務局より江戸川区の二酸化炭素排出量、エコタウンえどがわ推進計画の進捗、地球温暖化対策の推進、地域循環共生圏、ラムサール条約の認定について報告及び説明。
- 東京電力パワーグリッド(株)安田様、東京ガス(株)中塚様より、アドバイザーとしての知見からお話しをいただいた。

【顧問・本部員・アドバイザー・事務局の発言（要約）】

- ・エコタウンえどがわ推進計画について、第1次目標は達成済みであり、第2次目標についても現在の進捗を維持できれば達成する見込みである。
- ・江戸川区として、自然豊かな地域資源を活かした地域循環共生圏を形成し、地域の活性化を促進すべく各団体と連携を図っていきたい。
- ・再生可能エネルギーの取り組みが重視される中で、企業としても事業として再生可能エネルギー電源を拡充していくことが必須である。
- ・日常的に使うプラスチック製品が川や海に流れ、生物に影響を与えている。プラスチック問題は地球温暖化にもかかわる問題であり、区民・企業ともに本格的な取り組みを進めていかなければならない。
- ・産業部門での温室効果ガス排出量は削減が進んでいるが、一般家庭での削減は全国的になかなか進まないの、一人ひとりの意識を変える必要がある。
- ・区が率先して行動すれば全国へ影響を及ぼすことも考えられる。その意味で区が打ち出した温室効果ガス削減目標の影響力は大きい。
- ・ごみ問題として、小中学校の給食ではストローを概算で年間900万本ほど使用している。今後これをどうすべきか。
(これに対し「子どもたちからアイデアを募ってみてはどうか」という提案あり)